

踏み出そう新たなステージへみんなの力が新渡戸の未来

9月号

令和元年9月1日号



新渡戸記念 中野総合病院 だより

Nitobe Memorial Nakano General Hospital

東京医療

住所 東京都中野区中央四丁目59番16号

TEL 03-3382-1231 (代) 夜間受付 03-3382-9991

ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp> E-mail soumu@nakanosogo.or.jp

第363号

発行人/理事長 入江 徹也

発行責任者/事務局長 横井 悟

放射線科の仕事って？

放射線科部長 手塚 幹生

放射線科は現在、2名の常勤医(手塚、伊奈)に加え、東京医科歯科大学医学部放射線科より派遣される9名の非常勤医、18名の診療放射線技師、4名の看護師とともに、院内の画像診断業務、IVR(画像誘導下での体内局所治療)に携わっております。

初めに、患者様にとっておそらく馴染みの薄い、我々放射線科医の仕事につきまして紹介させていただきたいと思っております。

放射線科で扱う検査は、CTやMRI、超音波、マンモグラフィー、透視……と多岐に渡りますが、いずれも現代医療では欠かせない、診断の根幹を担う要素となっており、我々は適切な検査を行い、得られた所見を正確に記載し、的確な診断をつけて主治医に報告することを仕事としております。今や画像診断と無関係な診療科はないと言っても過言ではないでしょう。

技術革新の起こりやすい分野でもあり、例えばCTは、私が研修医の頃は10mmの厚さの断層写真を1枚ずつ撮ることができる機械に過ぎなかったのですが、今では1mmの厚さで瞬時に数十枚撮れるようになり、単なる「輪切り像」ではなく、人体の様々な方向の断面像や3次元の立体画像が作成可能となりました。その代わりに扱う画像の枚数は膨大なものとなり、我々の仕事量は格段に増えてきているのが現状です。

また、画像診断の他にIVRにも携わっており、これはカテーテル治療あるいは血管内治療と呼ばれることもあります。肝臓癌の動注・塞栓術や動脈瘤の

塞栓、膵炎の動注、膿瘍の排膿などを各科の依頼・協力のもとに行っており、局所麻酔のみで迅速かつ非侵襲的に行えるため、従来の外科的な手技に比べ患者様への負担は小さくなっています。比較的新しい治療法であるため、近年飛躍的に適応が拡大しており、日進月歩で進化を遂げている治療法と言えます。

なお昨今、放射線科医の作成したレポートが主治医の目にふれることなく経過したために、重要所見が放置されたまま不幸な転帰となった事例が、新聞等で度々報告されております。当院ではすでに、当科と各診療科間のチェックシステムを設けて、そうした見逃し事故が起こらないような体制を築いておりますので、患者様におかれましてはどうぞご安心ください。

患者様と直接対面する機会はあまりないかと思いますが、我々が医療の質を担保しているのだという大きな責務を感じながら、これからも縁の下の力持ちとして当院の画像診断・IVRを支えてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



新渡戸記念中野総合病院 がん哲学外来

開催予定日 令和元年9月3日(火)、9月10日(火)、9月24日(火)、10月1日(火)、10月15日(火)

1回あたり約50分(1日4組まで)

予約は下記、新渡戸記念中野総合病院 患者支援センターまで。

電話 03-3382-1507

受付時間 午前8時30分～午後4時30分

組合員の方ならどなたでも
無料で予約できます。



薬のまめ知識

いろいろある薬の特徴

薬剤科長 高松 登

薬にはさまざまなタイプがあります。見た目は同じようでも目的によって薬の作り方が違うのです。たとえば、同じ錠剤の形をしていても、糖衣錠、フィルムコーティング錠、腸溶錠、徐放錠、口腔内崩壊錠、舌下錠、チュアブル錠などがあります。

薬の特徴に合わせた正しい使い方をしないと、きちんと効果が発揮されないどころか、思わぬ副作用が起こることがあります。薬をよく知って正しく使うために、病院でも薬局でも薬のことでわからないことがあれば薬剤師に相談してください。

錠剤の種類

- こうくうないほうかいじょう
● **口腔内崩壊錠** = 口の中で崩れて水がなくても飲める薬
- **コーティング錠** = 薬の周りを覆うことで、成分の苦みや匂いを隠して飲みやすくした薬。糖衣錠やフィルムコーティング錠などがある
- ちようようじょう
● **腸溶錠** = 胃で溶けずに腸で溶ける工夫がされた薬。胃酸の影響を防いだり、副作用を起こしにくくする効果がある
- じょほうじょう
● **徐放錠** = ゆっくり溶けることで効果を持続させたり、飲む回数を減らしたりする薬。ただし、噛んだり砕いたりすると効果がきちんと発揮されなかったり、過剰効果となることがあるので注意
- ぜっかじょう
● **舌下錠** = 溶けやすく、舌の下の粘膜から直接吸収されるため、速やかに効果が発揮される薬。飲んでしまうと効果がなくなる。
- **チュアブル錠** = 服用時にかみ砕いて使う薬



第2回新渡戸稲造シンポジウム 報告

さる8月18日(日)、中野サンプラザに於いて『第2回 新渡戸稲造シンポジウム ～「新渡戸稲造記念センター」開設記念』を開催いたしました。

- 東京女子大学学長 **茂里 一紘**先生による「**新渡戸稲造が遺したもの**」
- 恵泉女学園理事長 **宗雪 雅幸**先生による「**新渡戸稲造先生の贈り物**」
- 東京医療生活協同組合 新渡戸稲造記念センター長 **樋野 興夫**先生による「**21世紀の新渡戸稲造～がん哲学外来の心得～**」

3名のシンポジストの方に講演をしていただきました。

当日は35度を超える猛暑の中にもかかわらず、約200名の方にご参加いただきました。シンポジウムは滞りなく行われ、参加者の方から“貴重なお話が聞けた”“大変興味深いお話だった”と好評を得ることができました。

参加してくださった皆様、シンポジストの方々、会の準備にご協力いただいた方々にこの場を借りて御礼申し上げます。



第21回 新渡戸記念中野総合病院 区民健康講座のお知らせ

テーマ 夜間頻尿の話

日時 令和元年10月5日(土) 午後2時～3時

講師 新渡戸記念中野総合病院 泌尿器科 部長 後藤 智隆

会場 東京都生協連会館3階会議室

定員 50名(定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます)

参加申し込み先 患者支援センター 連携担当 ☎03-3382-1231(内線211)
または総合受付④番窓口

7月に予定されていた講座が中止になり、お詫び申し上げます。あらためて10月に開催いたしますので、ご参加をお待ちしています。

第20回 抒情コンサートを開催いたします



例年、敬老の日に因み開催いたしております“抒情コンサート”は、今回で20回を数えることになりました。本年も下記の日時に開催いたしますので、抒情曲をお楽しみにお越しくさせていただきますよう、ご案内申し上げます。

日時 令和元年9月14日(土) 午後3時～4時
会場 新渡戸記念中野総合病院 1階内科外来待合室

記

9月の小児救急体制



9月1日から30日までの、準夜間小児初期救急医療体制は下記の通りです。なお、都合により医師の変更もあり得ますので、ご了承ください。ご不明な点は、下記夜間受付にお問い合わせ願います。

*血液検査、点滴等の処置、入院等を必要とする場合は他病院を紹介します。

受付時間 毎日午後6時30分～午後9時45分

診療時間 毎日午後7時～午後10時

夜間受付 ☎03-3382-9991

9月準夜間小児初期救急担当医

日	月	火	水	木	金	土
1 右田 王介	2 小須賀 基通	3 金 慶彰	4 高梨 栄	5 奈良 昇乃助	6 亀井 宏一	7 保崎 明
8 清水 泰岳	9 亀井 宏一	10 高梨 栄	11 山田 正興	12 赤松 信子	13 清水 泰岳	14 清水 泰岳
15 右田 王介	16 亀井 宏一	17 小池 林太郎	18 佐和田 哲也	19 奈良 昇乃助	20 右田 王介	21 清水 泰岳
22 清水 泰岳	23 右田 王介	24 細谷 直人	25 宇都 ちひろ	26 赤松 信子	27 清水 泰岳	28 亀井 宏一
29 亀井 宏一	30 小須賀 基通					

新渡戸記念を支える
職場紹介

窓口業務部門と経理事務部門が連携 経理課

経理課長 高田 祐介

経理課には、会計窓口にて、患者さんにお支払いいただいた医療費をお受けする窓口業務部門と、事務棟にて出納、仕訳、決算処理等の事務作業を行う経理事務部門の2つの部門があり、お互いが連携して、適切に経理処理が行われるよう業務に励んでおります。

患者さんに外来診療費をお支払いいただいている診療費支払機の管理も経理課の業務になります。診療費支払機および会計レジの導入により、「会計待ち時間が減った」というご意見を頂戴しており、幸いに存じます。診療費支払機の使い方、会計についてのご質問等ございましたら、ご遠慮なくお声かけください。

これからも、患者さんの気持ちに寄り添った対応を心がけてまいります。



新渡戸 の 言葉

8月18日盛夏、「第2回新渡戸稲造シンポジウム」が開催されました。講演では具体的なエピソードから、百年の刻を超えて新渡戸稲造博士の姿が鮮明に蘇り、現在に続くその魂が心に響いてきました。当院の節目の年となる「新渡戸稲造記念センター」の開設に合わせ、令和元年の幕開けに相応しい会となりました。

今月号は『一日一言』9月25日よりの掲載です。最後に明治天皇御製が記されています。

むらぎもの心の限り尽してん わが思ふこと成るも成らずも(明治四十四年)

「東京医療利用組合」(当時)の発起人の一人、加藤普佐次郎博士(元・戸山病院長)は、昭和6年の第1回発起人会の席上で次のような宣言をしています。

『この事業は新渡戸博士の誕生百年祭迄に全国的のものとする。……新渡戸先生の如き世界的名士の教導を賜わることを得たのはまことに喜ばしい事と感謝して居ります。……そして三十年四十年の歳月の後には相当な発達をなすべく期待して居ります。』(『東京医療生協五十年史』p24-25、昭和57年刊)

戦後、国民健康保険法が昭和33年(1958)に公布され、「東京医療利用組合」の医療組合としての相互扶助のしくみが魁の一つとなり、現在に続く本邦の国民皆保険制度となりました。奇しくも新渡戸稲造博士(1862-1933)生誕百年を前にしての出来事でした。

新渡戸記念中野総合病院副院長 山根 道雄

事の成る成らぬは天に任し、自分は偏に其日く
の務を全うすれば足る。其の結果が思ふ通りに行
かずとも、之れ必ずしも失敗でない。植うる種子は
一月で生ゆるもあり、百年後に芽すもある。人生は
限りなきの播種なり、発芽も収穫も天意にあり。

『一日一言』 九月二十五日

新渡戸 稲造